

the work of **illustrator**
ANZAI



イラストレーター

安西水丸展



MIZU



会期が
のびました!

4/24(土) - 9/20(月)

2021 世田谷文学館

会場予約OK!

#みずまるせちふん

157-0062 世田谷区世田谷1-10-10
Tel.03-5374-9111 Fax.03-5374-9120
www.setabun.or.jp
※本館は、京王線「世田谷駅」東口より徒歩5分
小田急線「中野駅」東口より徒歩15分(バス「世田谷駅」停留所)
1階は常設展示、2階は展示室

開館時間: 10:00-18:00(観覧会入場、ミュージアムショップは17:30まで)
休館日: 毎週月曜日(ただし5/3、8/9は開館、5/6、8/10は休館)
観覧料: 一般900(720)円/65歳以上・高校・大学生600(480)円/小・中学生300(240)円、
障害者手帳をお持ちの方400(320)円 ※(*)内は20名以上の団体料金
主催: 公益財団法人せたがや文化財団 世田谷文学館 監修: 安西水丸事務所
協力: 嵐山オフィス/村上事務所/和田誠事務所/東京イラストレーターズ・ソサエティ
SPACE YUI/クリエイションギャラリー G8(リクルートホールディングス)
企画協力: クレブリス 会場設計: DO.DO. 後援: 世田谷区/世田谷区教育委員会

MIZUMARU
exhibition

PRESS RELEASE SETABUN

イラストレーター 安西水丸展
2021/6/1 世田谷文学館プレスリリース

the work of illustrator ANZAI MIZUMARU exhibition

イラストレーター 安西水丸展

2021年4月24日 [土] ~9月20日 [月・祝]

※本展は当初8月31日までの会期でしたが東京都の休業要請に伴う臨時休館により会期を延長いたしました



画像 05

安西水丸（1942-2014）は、1970年代より小説、漫画、絵本、エッセイや広告など、多方面で活躍したイラストレーターです。はじめ広告代理店や出版社に勤め、デザイン等の仕事をしながら、嵐山光三郎の勧めで「ガロ」に漫画を掲載、南房総で過ごした日々などを題材とした『青の時代』が高い評価を受けます。

独立後は、村上春樹をはじめとする本の装丁や、『がたんごとんがたんごとん』などの絵本、和田誠との展覧会、広告や執筆活動など、幅広く活躍しました。「その人にしか描けない絵」を追求し、身近なものを独自の感性で表現した作品は、私たちにユーモアと哀愁あふれる世界へと誘います。

本展では、「小さい頃よりずっと絵を描くことが好きだった」という安西の幼少期から晩年に至るまでの足跡を、原画と関連資料あわせて500点以上によりご紹介いたします。加えて、「旅」をテーマにした特別コーナー「たびたびの旅」では、旅にまつわる原画、原稿、郷土玩具、民芸品など初出品資料を含む約130点を展示。生涯で国内外のさまざまな場所を訪れた「旅する人」・安西水丸にも迫ります。

広報に関するお問合せ： 世田谷文学館学芸部 佐野、宮崎

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山 1-10-10 TEL: 03-5374-9111 / FAX: 03-5374-9120

PRESS RELEASE

SETABUN

イラストレーター 安西水丸展
2021/6/1 世田谷文学館プレスリリース

概要

- 【展覧会名】 イラストレーター 安西水丸展
【会 期】 2021年4月24日（土）～ 9月20日（月・祝）
※本展は当初8月31日までの会期でしたが、東京都の休業要請に伴う臨時休館により会期を延長いたしました
【会 場】 世田谷文学館 2階展示室 <https://www.setabun.or.jp/>
〒157-0062 東京都世田谷区南烏山1-10-10 TEL 03(5374)9111 / Fax 03(5374)9120
【開館時間】 10:00～18:00 ※展覧会入場、ミュージアムショップの営業は17:30まで
【料 金】 一般 900（720）円 / 65歳以上・大学・高校生 600（480）円 / 小・中学生 300（240）円 / 障害者手帳をお持ちの方400（320）円（ただし大学生以下は無料）
※（ ）内は団体割引と「せたがやアーツカード」割引料金
【休 館 日】 毎週月曜日（ただし8月9日は開館、8月10日は休館）及び臨時休館期間
【交通案内】 京王線：「芦花公園」駅南口より徒歩5分
小田急線：「千歳船橋」駅より京王バス（千歳烏山駅行）利用、「芦花恒春園」下車徒歩5分
【主 催】 公益財団法人せたがや文化財団 世田谷文学館
【監 修】 安西水丸事務所
【協 力】 嵐山オフィス / 村上事務所 / 和田誠事務所 / 東京イラストレーターズ・ソサエティ / SPACE YUI / クリエイションギャラリーG8（リクルートホールディングス）
【企画協力】 クレヴィス
【会場設計】 DO.DO.
【後 援】 世田谷区、世田谷区教育委員会

【ご来館にあたってのお願い】

お客様に安心してご鑑賞いただくため、世田谷文学館は施設の換気や消毒、スタッフ全員の検温など感染症予防対策に取り組み開館しています。

- 感染症対策のため、**混雑時は入場を制限**させていただきます。
- 37.5℃以上の発熱がある方は入館をお断りします（入館時に検温させていただきます）。
- ご入場の際はマスクをご着用ください。
- 過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある場合は、来館をお控えください。
- 咳、咽頭痛等、風邪のような症状がある方、体調がすぐれない方はご来館をお控えください。
- 感染症対策のため、お客様の個人情報を必要に応じて保健所等の公的機関に提供する場合がございます。
- クロークサービスはありません。大きなお荷物でのご入場はご遠慮ください（ベビーカー置き場はあり）。
- 駐車場は利用台数が限られます。公共交通機関のご利用をお願いいたします。
- その他、注意事項の追加・更新がございますのでご来館前に必ず文学館HPをご確認ください

同時開催 コレクション展 受贈記念 夷齋先生・石川淳 2021年4月24日（土）～9月26日（日）
次回企画展 谷口ジロー展(仮称) 2021年10月16日（土）～2022年2月27日（日）予定

PRESS RELEASE SETABUN

イラストレーター 安西水丸展
2021/6/1 世田谷文学館プレスリリース

展覧会、3つの見どころ

その1 遊び心あふれる展示空間

イラストレーター安西水丸の多彩な仕事を俯瞰する展覧会。覗き穴や顔はめスポット、絵から飛び出した特大モチーフなど、遊び心あふれる展示空間でお迎えます。安西水丸のイラストレーションの世界に入り込むような会場で作品を堪能することができます。
全コーナー写真撮影OK。（会場デザインはDO.DO.）

1. ぼくの仕事

装丁・装画、絵本、漫画、雑誌、エッセイ、広告、立体物など多様な仕事を紹介。

2. ぼくと3人の作家

特に関係の深かった嵐山光三郎、村上春樹、和田誠との交流のなかで生まれた作品に焦点をあてます。

3. ぼくの来た道

イラストレーターを夢見ていた幼少期からの作品や資料、生涯にわたって愛した品々を紹介。

4. ぼくのイラストレーション

安西水丸が描いた原画や本展のために複製制作された作品などを展示。

Special たびたびの旅

旅する人・安西水丸に着目。『地球の細道』『a day in the life』を中心に、旅にまつわる作品やオブジェなどを紹介する東京会場特別展示。



参考画像

その2 初出品の原画など新規展示

2020年末に新たに発見された小説『アマリス』カバー原画、村上春樹共著『ランゲルハンス島の午後』原画ほか、貴重な作品約15点を今回初めて展示します。2016年から全国巡回している集大成として位置づけられる本展を、さらに充実させた内容でご覧いただけます。

その3 特別展示「たびたびの旅」

「旅」をテーマにした東京会場オリジナルの展示コーナー「たびたびの旅」を新たに加え、旅の持ち物、旅先で求めたスノードームや郷土玩具など「旅」にまつわる品々をイラストレーションや原稿とともにご紹介。

絶筆となった『地球の細道』原稿（第93回、単行本未収録）などを初出品します。



画像 07

PRESS RELEASE SETABUN

イラストレーター 安西水丸展
2021/6/1 世田谷文学館プレスリリース

グッズ、会場限定図録

書籍のほか、オリジナルTシャツ、ポストカード、クリアファイルやマグカップなど、安西水丸関連グッズを多数取り揃えています。展覧会公式図録に**東京会場限定カバー版が登場**。限定カバー図録をお買い上げの方には、本展オリジナル「旅」のポストカードをプレゼントします。また、漫画『青の時代』がクレヴィスより新たな装丁で復刊。



図録画像



青の時代画像

関連展示 水丸さんのがたんごとん in 館内 〈どこでも文学館〉新作パネル特別展示

館内で安西水丸の絵本をテーマにした出張展示パネルをお披露目展示します。幅広い世代に人気の『がたんごとん がたんごとん』、『りんごりんごりんご りんごりんごりんご』ほか、絵本のラフと完成本を比べる『ピッキーとポッキーのかいすいよく』など、安西水丸の絵本の世界をゆっくりお楽しみください。

会場：世田谷文学館 1階 文学サロン 入場無料 会期：4月24日（土）～8月31日（火）

関連展示 安西水丸ポスター展 at 生活工房

安西水丸がデザインしたポスター約25点を一堂に展示します。

会期：2021年7月3日（土）～18日（日） 10：00～18：00 ※月曜休

会場：生活工房ギャラリー 入場無料

（東急田園都市線・世田谷線「三軒茶屋」駅直結キャロットタワー3階）

※詳細は世田谷文学館HPをご覧ください

このほか、会期中のイベントについては世田谷文学館HPでお知らせ予定です。

安西水丸 (1942-2014)

東京生まれ。本名・渡辺昇。イラストレーター。日本大学芸術学部美術学科造形コース卒業。電通、ADAC(ニューヨークのデザインスタジオ)、平凡社でアートディレクターを務めた後、フリーのイラストレーターに。広告、雑誌の表紙や挿絵、書籍の装画ほかで活躍のかたわら、小説、エッセイ、漫画、絵本などの自著も多く手掛け、今なお高い人気を博している。朝日広告賞、毎日広告賞、1987年日本グラフィック展年間作家優秀賞、1988年キネマ旬報読者賞など受賞多数。



PRESS RELEASE SETABUN

イラストレーター 安西水丸展
2021/6/1 世田谷文学館プレスリリース

広報写真



画像01

illustrated by Mizumaru Anzai © Masumi Kishida



画像02

illustrated by Mizumaru Anzai © Masumi Kishida



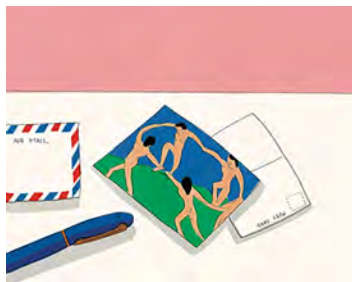
画像03

illustrated by Mizumaru Anzai © Masumi Kishida



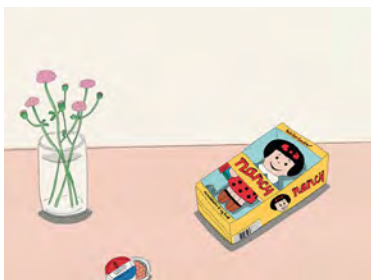
画像04

illustrated by Mizumaru Anzai © Masumi Kishida



画像05

illustrated by Mizumaru Anzai © Masumi Kishida



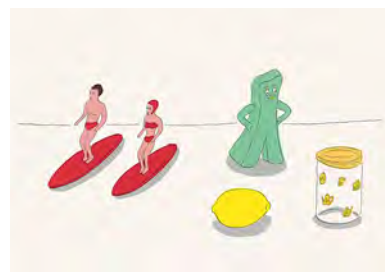
画像06

illustrated by Mizumaru Anzai © Masumi Kishida



画像07

illustrated by Mizumaru Anzai © Masumi Kishida



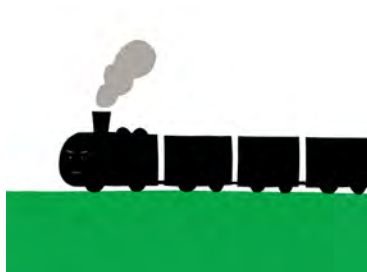
画像08

illustrated by Mizumaru Anzai © Masumi Kishida



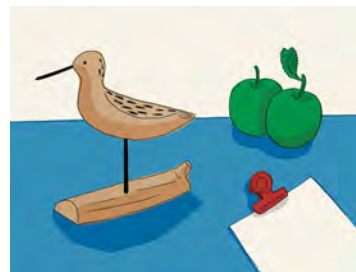
画像09

illustrated by Mizumaru Anzai © Masumi Kishida
©Wada Makoto



画像10

illustrated by Mizumaru Anzai © Masumi Kishida



画像11

illustrated by Mizumaru Anzai © Masumi Kishida

PRESS RELEASE SETABUN

イラストレーター 安西水丸展

2021/6/1 世田谷文学館プレスリリース

広報写真



画像12

illustrated by Mizumaru Anzai © Masumi Kishida



画像13

illustrated by Mizumaru Anzai © Masumi Kishida
嵐山光三郎共著『ピッキーとポッキー』
福音館書店 1993年



画像14

村上春樹『中国行きのスロウ・ボート』装丁
中央公論社 1983年



画像15

『アマリリス』新潮社 1989年



画像16

『荒れた海辺』新潮社 1993年



画像17

photo by Masataka Nakano



画像18

2010年 ヴェネツィア



画像19

旅行鞆



画像20

カメラ、取材手帳など

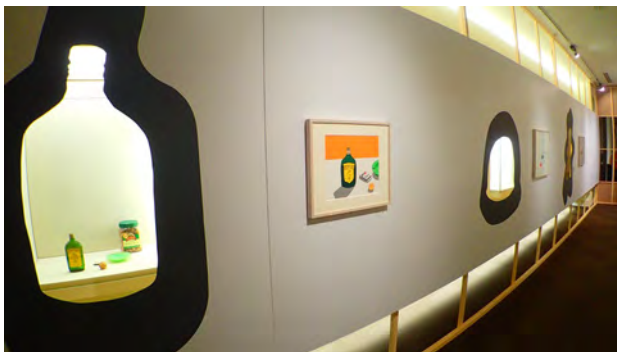
PRESS RELEASE SETABUN

イラストレーター 安西水丸展
2021/6/1 世田谷文学館プレスリリース

広報写真・会場風景



会場写真 1



会場写真 2



会場写真 3 (顔はめスポット)



会場写真 4



会場写真 5



会場写真 6



会場写真 7 8

PRESS RELEASE SETABUN

イラストレーター 安西水丸展
2021/6/1 世田谷文学館プレスリリース

イラストレーター 安西水丸展 広報用画像借用書

世田谷文学館学芸部 広報担当 行

Eメール webmaster@setabun.net FAX 03-5374-9120

展覧会広報用の画像をご用意しています。ご希望の際は下記利用条件をご確認のうえ、本紙データをファックスまたはEメールにてご提出ください。なお、本展紹介記事をご掲載いただく際は、恐れ入りますが情報確認のため、掲載前に校正紙をお送りください。また、発行後、掲載誌を1部お送りください。

【広報用画像利用条件】

- ◆画像は展覧会紹介の目的のみにご使用ください。
- ◆画像のトリミング、画像に文字を重ねるレイアウトはお控えください。
- ◆画像データは、ご使用後必ず消去してください。また画像データを第三者に渡すことを禁じます。
- ◆インターネット上で掲載する場合には、画像をコピーできないよう処置し、会期終了後はWEBサイトから必ず削除してください。

雑誌名・番組名・WEBサイト名 _____ :

媒体種別 (○印記載) : 新聞・雑誌・フリーペーパー・テレビ・ラジオ・WEBサイト

発売・放送・更新予定日 _____ :

御社名 _____ :

御担当者名 _____ :

御住所 _____ :

Eメールアドレス _____ :

電話番号 _____ :

FAX番号 _____ :

【画像利用の申請について】

利用希望の画像については、下記にチェック (レ) をして申請してください。

- | | | | | | |
|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 画像0 | <input type="checkbox"/> 画像1 | <input type="checkbox"/> 画像2 | <input type="checkbox"/> 画像3 | <input type="checkbox"/> 画像4 | <input type="checkbox"/> 画像5 |
| <input type="checkbox"/> 画像6 | <input type="checkbox"/> 画像7 | <input type="checkbox"/> 画像8 | <input type="checkbox"/> 画像9 | <input type="checkbox"/> 画像10 | <input type="checkbox"/> 画像11 |
| <input type="checkbox"/> 画像12 | <input type="checkbox"/> 画像13 | <input type="checkbox"/> 画像14 | <input type="checkbox"/> 画像15 | <input type="checkbox"/> 画像16 | <input type="checkbox"/> 画像17 |
| <input type="checkbox"/> 画像18 | <input type="checkbox"/> 画像19 | <input type="checkbox"/> 画像20 | | | |

※画像1~13, 17には、必ずクレジットを表記してください (本紙プレスリリースの6、7ページに記載)

会場写真1 会場写真2 会場写真3 会場写真4 会場写真5 会場写真6 会場写真7

PRESS RELEASE SETABUN

イラストレーター 安西水丸展
2021/6/1 世田谷文学館プレスリリース

【画像の詳細データについて】

※本紙プレスリリースの6、7ページに記載のあるクレジットは必ず表記してください

- 画像00 展覧会メインビジュアル
- 画像01 「万年筆」 (村上春樹共著『象工場のハッピーエンド』新版 講談社 1999年)
- 画像02 《口笛のきこえる》1985年
- 画像03
- 画像04 (「カティースーク自身のための広告」
村上春樹共著『象工場のハッピーエンド』CBS・ソニー出版 1983年収録) [制作年不詳]
- 画像05 (「サヴォイでストンプ」
村上春樹共著『象工場のハッピーエンド』CBS・ソニー出版 1983年収録) [制作年不詳]
- 画像06 《花とナンシー》1991年
- 画像07 「城下町から滝めぐり、そして名画と出会う」
(『ニッポン・あっちこっち』家の光協会 1999年収録)
- 画像08 《サーフィン》2006年
- 画像09 《APPLE》2001年 和田誠共作
- 画像10 《がたん ごとん がたんごとん》制作年不詳
- 画像11 (「ジョン・アプダイクを読むための最良の場所」
村上春樹共著『象工場のハッピーエンド』文庫版 新潮社1986年収録) [制作年不詳]
- 画像12
- 画像13 嵐山光三郎共著『ピッキーとポッキー』より 福音館書店 1993年
(ペーパーバック版：1976年)
- 画像14 村上春樹『中国行きのスロウ・ボート』装丁 中央公論社 1983年
- 画像15 『アマリリス』新潮社 1989年
- 画像16 『荒れた海辺』新潮社 1993年
- 画像17
- 画像18 2010年 ヴェネツィア
- 画像19 旅行鞆
- 画像20 カメラ、取材手帳など

※空欄はタイトル・制作年不詳

PRESS RELEASE SETABUN

2021年度コレクション展前期 受贈記念
夷齋先生・石川淳
2021/6/1 世田谷文学館プレスリリース

概要 夷齋先生・石川淳



いさいりげん
美言、笑ふべし。－『夷齋俚言』

石川淳（明治32[1899]～昭和62[1987]）は昭和を代表する小説家であるとともに、「夷齋」の別名による数々の名随筆でも知られ、同時代の文学者のもとより、安部公房、加藤周一、三島由紀夫、福永武彦、開高健、澁澤龍彦、丸谷才一ら多くの後輩作家たちから敬愛された存在でした。また、石川淳は東京に生まれ、昭和22年から24年にかけて北沢に暮らした、世田谷ゆかりの作家でもあります。

このたび、ご長男の石川眞樹氏より当館に、「鷹」、「鳴神」、「落花」など1950年代の中・短編小説の原稿と、同じく50年代の『夷齋俚言』『夷齋清言』に収録された随筆原稿を中心に、未完作「華巖」から、1980年代の長編「六道遊行」の原稿の一部ほか、自筆メモ、作家や研究者からの書簡など貴重な資料をご寄贈いただきました。漢籍の深い素養とフランス文学由来の教養に支えられ、確固たる文体によって構築された変幻自在な作品世界を愛する皆様には、その内容にふさわしい見事な筆跡の原稿を存分に堪能いただけます。また、文学者たちからの尊敬と親しみにあふれた書簡を通して、孤高の作家とも呼ばれる石川のあたたかな人間性もお伝えします。

- 【**展覧会名**】 2021年度コレクション展前期 受贈記念 夷齋先生・石川淳
同時開催 ムットーニのからくり劇場（混雑時は観覧制限あり）
- 【**会 期**】 2021年4月24日（土）～9月26日（日）
- 【**会 場**】 世田谷文学館 1階展示室
東京都世田谷区南烏山 1 - 10 - 10 TEL 03(5374)9111 <https://www.setabun.or.jp/>
- 【**開館時間**】 10:00～18:00（展覧会入場、ミュージアムショップの営業は17:30まで）
- 【**料 金**】 一般200（160）円／大学・高校生150（120）円／65歳以上、中・小学生100（80）円
障害者手帳をお持ちの方100（80）円（但し大学生以下は無料）
※（ ）内は20名以上の団体割引と「せたがやアーツカード」割引料金
※9月20日（月・祝）敬老の日は60歳以上無料
※土日祝日・夏休み期間中は小中学生無料
※企画展「イラストレーター 安西水丸展」のチケットで、本展をご覧いただけます
- 【**休 館 日**】 毎週月曜日
ただし8月9日・9月20日は開館、8月10日・9月21日及び臨時休館期間は休館
- 【**交通案内**】 京王線「芦花公園」駅南口より徒歩5分
小田急線「千歳船橋」駅より京王バス（千歳烏山駅行）利用、「芦花恒春園」下車徒歩5分
- 【**主 催**】 公益財団法人せたがや文化財団 世田谷文学館
- 【**後 援**】 世田谷区、世田谷区教育委員会
- 【**ご来館にあたってのお願い**】
- 感染症対策のため、混雑時は入場を制限させていただきます
 - 37.5℃以上の発熱がある方は入館をお断りします（入館時に検温させていただきます）
 - ご入館の際はマスク（もしくはそれに代わるもの）をご着用ください
 - 咳、咽頭痛等、風邪のような症状がある方、体調がすぐれない方はご来館をお控えください
 - 感染症対策のため、お客様の個人情報を必要に応じて保健所等の公的機関に提供する場合がございます
 - クロークサービスはありません。大きなお荷物でのご入館はご遠慮ください（ベビーカー置き場はあり）
 - 駐車場は利用台数が限られます。公共交通機関のご利用をお願いします
 - その他、注意事項の追加・更新がございますのでご来館前に必ず文学館HPをご確認ください